



1. 廃棄物管理に関する政策と制度の強化

相手国の政府や主要ステークホルダーと協力し、持続可能な廃棄物管理・資源管理に関する国・地方レベルでの政策、戦略、行動計画の策定やその正式な採択とパイロットプロジェクトの実施を支援しています。

2. キャパシティビルディングと実施支援

策定した政策、戦略、行動計画の効果的な実施に向け、具体的な事例に即してのケーススタディ、政策提言やガイドライン等の作成を通し、廃棄物管理におけるノウハウや知識の提供・共有を進めています。また、政策決定者や実務者向けの研修やキャパシティビルディングプログラム（現地・オンライン）も提供しています。

3. パートナーシップ、ネットワーキングの形成を通じたインパクト形成

アジア・太平洋地域全体の関係者との協力関係を強化することを通し、持続可能な廃棄物管理・資源管理の実現に向けた適切な政策、技術、資金調達メカニズムに関する経験と知識の共有を広めています。

CCETについて

IGES-UNEP 環境技術連携センター (IGES Centre Collaborating with UNEP on Environmental Technologies : CCET) は、アジア・太平洋地域の国々に対し、中央政府・地方自治体による環境負荷が少ない適切な廃棄物管理体系の構築に協力し、資源効率的で持続可能な社会への転換を後押しすることを目的に2014年に設立されました。CCETは主要なステークホルダーとの連携の下、3R (リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle)) 等に基づく効率的な廃棄物管理・資源管理に向けた支援を実施しています。相手国政府の政策策定の支援、政策の実施に向けた組織体制・知見の強化、またネットワーク形成やアウトリーチ活動を行っています。

パートナー機関



お問い合わせ

所在地 (IGES本部内)

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口2108-11

Tel: 046-855-3840

Fax: 046-855-3809

E-mail: ccet-info@iges.or.jp



Visit our website for more information and publications.

www.ccet.jp



CCET

The IGES Centre Collaborating with
UNEP on Environmental Technologies



持続可能な廃棄物管理と資源効率の向上に向けた取組みを実施



適切な廃棄物管理に向けた国別および地域別のアプローチ



インド

循環経済の構築を目指し、2022年までに使い捨てプラスチックを全面禁止するインド政府の公約を支持し、CCETと現地パートナー (ICLEI) は、ハイデラバード市営法人 (Greater Hyderabad Municipal Corporation : GHMC) と共に、プラスチックごみの管理に係る包括的な戦略と行動計画の策定に取り組んでいます。



ブータン

持続可能な廃棄物・資源管理に向けた環境教育

持続可能な廃棄物・資源管理に向け、環境教育を通じ、人々のライフスタイル、消費行動や廃棄物への取り組みにおける改善を促しています。

ブータンの国家環境委員会 (National Environmental Commission : NEC) および王立教育審議会 (Royal Education Council : REC) と協力し、ブータンの小学校で使用される環境教育の補助テキストを作成しました。これは、同国の国民総幸福量 (Gross National Happiness : GNH) 政策の下、教育カリキュラムに4R (リフューズ (Refuse)、リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle)) の内容を取り入れることを目的としています。



ミャンマー

CCETの支援の下、ミャンマーの天然資源・環境保全省 (Ministry of Natural Resources and Environment : MONREC) とマンダレー市開発委員会 (Mandalay City Development Committee : MDCDC) が策定した廃棄物管理戦略および行動計画は、国と市レベルで制定された同国初の廃棄物管理政策となりました。また政府は、全国的に廃棄物管理サービスを普及させるために必要な政治的なコミットメントを示しています。



スリランカ

スリランカの最新の国家廃棄物管理政策 (National Waste Management Policy) に従い、プラスチックごみの管理に関する行動計画、オープンダンピングが行われた地域の閉鎖・土地の回復に関するガイドライン、法制度・組織体制の策定について、マハウェリ開発・環境省 (Ministry of Mahaweli Development and Environment : MoMDE) を支援しています。地方自治体においても、ネゴンボ市 (Negombo Municipal Council : NMC) の都市廃棄物管理戦略の策定に協力しています。



南アジア



南アジアにおける持続可能な廃棄物・資源管理に向けた政策対話

2050年までに南アジアで発生する廃棄物量は世界最大となることが予測されており、その量は年間6億6,100万トンと推定されています。こうした背景を受け、CCETは各国の政府や国際機関等と協力し、南アジア全域において持続可能な廃棄物・資源管理を実現するための政策対話、取組みを進めています。



カンボジア

CCETがカンボジア環境省 (Ministry of Environment : MoE) およびプノンペン市 (Phnom Penh Capital Hall : PPCH) との協力で策定した廃棄物管理戦略は、現在進められている廃棄物管理体制の地方分散化を促進するためのガバナンス改革に、政策の方向性を示しています。



インドネシア

現在世界第2位のプラスチック汚染源となっているインドネシアにとって、プラスチックごみの削減は国の最優先課題の1つです。この問題の解決に向けたインドネシア政府のイニシアティブを支持し、CCETは環境・森林省 (Ministry of Environment and Forestry : KLHK) と共に、国のプラスチックごみ削減計画の策定を行ってきました。この削減計画は、インドネシアの「海洋プラスチックごみに関する行動計画 (Plan of Action on Marine Plastic Debris)」に基づき、陸上で排出されるプラスチックごみの削減目標達成に向け、そのペースを上げることを目指しています。CCETはまた、インドネシア国内で指定された10か所の重要観光地の1つとなっている、トバ湖周辺の自治体による廃棄物管理・環境保護の取組みを支援しています。



モルディブ

18の島から成るモルディブ南部の地域を対象とした、地域廃棄物管理戦略および行動計画の策定およびパイロットプロジェクトの実施において、モルディブ環境省 (Ministry of Environment : MoE) を支援しています。この廃棄物管理戦略は、この地域特有の課題に対する解決策を提供し、また各島による廃棄物管理体制の構築、運営を促しています。

